

学校目標・経営方針	ものづくりを通して地域産業界に貢献できる技術者の育成
-----------	----------------------------

本年度の重点目標	1 基本的な生活習慣を確立し、総合人間力の育成に努める	達成度	A ほぼ達成できた。(8割以上)	評価	4 良くできている。
	2 基礎学力の定着を図り、生徒の進路実現に努める		B 概ね達成できた。(6割以上)		3 できている。
	3 生徒会活動・部活動を通して豊かな人間性と逞しい身体の育成に努める		C 不十分である。(4割以上)		2 あまりできていない。
	4 社会的自立・職業的自立に向けた力を身に付けた、工業のスペシャリストを育成する		D 達成できなかった。(4割以下)		1 できていない。

自己評価				年度末評価(令和5年2月1日現在)		
番号	評価項目	本年度の重点目標		自己評価結果		
		具体的方策	方策の評価指標	達成度	成果と次年度への課題・改善策	達成度
1	基本的な生活習慣を確立し総合人間力を高める指導の充実	①教職員の情報の共有化に努め、遅刻を繰り返す生徒の原因究明を行い、継続的な指導に努める。	各月ごとの数的推移	B	・今後も継続して精神面で問題を抱える生徒に対しては、生徒支援員やスクールカウンセラー等と協力して支援していく。 ・自転車ルールやマナーについては新入生を中心に指導していく必要がある。来年度からは自転車用ヘルメットの義務化にも対応する。 ・あけぼの支援学校との交流は、コロナ禍により平常通りには実施できなかったが、リモートにより実施した。	
		②バイク・自転車安全運転教育・点検の充実と自転車の交通ルール、マナー違反の改善に努める。	実施結果の検証			
		③7S活動の徹底、通学路のゴミ拾い、ボランティア活動等を実施し、環境美化意識及び愛校心、社会貢献精神の涵養に努める。	アンケート及び実施結果の検証			
2	基礎学力定着のための指導と個々の生徒の進路実現及び夢の実現にむけた指導	①わかる授業実現と評価方法の見直しを図りながら、生徒の学習意欲の向上に努める。	授業アンケートと授業観察	B	・今年度の入学生から導入されたBYOD活用が今後の課題であるとともに、わかる授業実現に必須だと考えられている。 ・日頃の学習をサポートするために補習などの機会が設けられていると回答した生徒が81%と高い値であった。 ・進路行事については、昨年度は中止が多かったが、今年度は感染症予防対策を行いながら実施した。	
		②基礎学力が不十分な生徒への補充的な課外学習等に努める。	基礎力テストの結果の検証			
		③進路実現にむけて各種進路行事・活動に積極的に取り組ませるとともにコミュニケーション能力の育成を図る。	アンケート及び進路実績の検証			
3	生徒会活動・部活動の活性化と活動を通して豊かな人間性と逞しい身体の育成	①生徒会活動を通しての自主自律の精神と道徳性の向上に努める。	アンケート及び活動実績の検証	B	・コロナ禍ではあったが、学園祭の体育祭と文化祭を実施できたことは、生徒の自主自立の精神の向上につながった。 ・感染症対策を行いながら、生徒会活動及び部活動を工夫しながら実施したい。	
		②指導内容の工夫や生徒による主体的な活動を推進し、時間外勤務の削減と部活動の活性化の両立を図る。	活動実績の検証			
		③生徒が主体的に取り組める学園祭の企画と立案や広報活動に努め、積極的な取り組みを図る。	実施後アンケート結果			
4	高度な知識・技術を習得した工業のスペシャリストの育成	①企業実習や企業見学への事前指導を強化し、効果的なインターンシップの実施に努める。	実施後アンケート結果	A	・地域産業界にて活躍できる人材の育成は、工業高校である本校の使命である。進路決定100%を継続するため、今後も引き続き指導を充実していく。 ・外部機関との連携は、生徒の成長に不可欠だと思う。今後も未永く実施していく。	
		②進路実現・資格取得に向けて地域連携ものづくり事業を有効に活用する。	取得実績の検証			
		③産業技術短期大学校等の外部機関と連携し、国家技能検定などの高度資格に挑戦させ合格者の増加を図る。	取得実績の検証			

学校関係者評価	
実施日(令和5年2月20日)	
評価	意見・要望等
4	様々な境遇の生徒が在籍する中で、基本的な生活習慣を確立させることは大変なことだと思います。韭工では、具体的に分かりやすい活動を通して、指導が行われていると思います。地道な活動を続けることで、少しでも生徒の行動に良い変化が見られるようになることを期待します。生徒のあいさつが非常に良いと感じる。
4	基礎学力定着のための「わかる授業」、「評価方法」、「課外学習」、「進路への取組」は良い取り組みだと思うので継続してほしい。授業を見せてもらったが、今の時代に合った内容であったり、基礎的な内容であったりして、基礎から現在の内容までうまく伝えられていると感じた。
4	生徒の主体性を育む上で、生徒会活動・部活動は重要な活動だと思います。「時間外勤務の削減と部活動の活性化」は、大切な観点だと思います。学校生活において、授業・成績以外の側面から、生徒の個性長所を認めることは、生徒との人間関係を構築する上で、大切なことだと思います。
4	韭工が、地域社会、特に産業界から必要とされ、その存在価値を高めるためには、工業の基礎・基本を身に付けたスペシャリストとして常に新たなチャレンジを続ける多くの人材を送り出すことが必要だと思います。資格取得や企業見学、インターンシップは、生徒に進路実現へのチャレンジ精神を育む方策だと思います。生徒の学習意欲を上げるために、企業実習、資格取得に積極的に取り組んでほしい。

留意点 (1)重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。

(2)学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的な対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。